

平成25年度重点事業の成果について

市民福祉の向上	1	大分市誕生100年市民企画実施事業	1		
	2	地域づくり交付金モデル事業			
	3	地域まちづくり活性化事業			
	4	ご近所の底力再生事業			
	5	小規模集落・里のくらし支援事業		2	
	6	(仮称)男女共同参画センター整備事業			
	7	障がい者福祉施設整備事業		3	
	8	老人福祉施設等整備事業			
	9	高齢者ワンコインバス事業			
	10	私立認可保育所施設整備事業		4	
	11	保育所分園推進事業			
	12	新桜町保育所民営化移行事業			
	13	子育て交流センター運営事業			
	教育・文化の振興	14		子ども医療助成事業	5
		15		慢性腎臓病対策推進事業	
16		おおいた夢色音楽プロジェクト	6		
17		ホームタウン推進事業			
18		(仮称)大分市教育センター整備事業			
19		不登校対策事業	7		
20		小中学校校舎等耐震化推進事業			
21		南大分小学校施設整備事業			
22		春日町小学校北校舎改築事業	8		
23		鶴崎小学校北校舎改築事業			
24		大在小学校施設整備事業			
25		大在中学校施設整備事業	9		
26		あいさつOITA+1運動推進事業			
27		大友氏遺跡保存整備事業			
防災安全の確保		28	大友氏遺跡情報発信事業	10	
	29	大分っ子体力アップわくわく事業			
	30	全国高等学校総合体育大会開催事業			
	31	明野書庫整備事業	11		
	32	消防局庁舎増築事業			
	33	消防局野津原出張所移転建設事業			
	34	被災者救援物資等備蓄事業	12		
	35	情報伝達設備整備事業			
	36	アライグマ防除実施事業			
	環境の保全	37	地球温暖化対策推進事業	13	
		38	太陽光発電設備設置補助事業		
		39	環境にやさしい自動車導入推進事業		
		40	納骨堂等複合施設建設事業	14	
		41	福宗環境センター清掃工場長寿命化事業		
		42	みんなの森づくり事業		
産業の振興	43	地産地消推進事業	15		
	44	「おおいたの幸」ブランド化支援事業			
	45	農業参入企業推進事業			
	46	有害鳥獣対策事業	16		
	47	漁港海岸保全施設整備事業			
	48	企業立地推進事業			
	49	中心市街地社会実験	17		
	50	商都復活支援事業			
	51	着地型観光を活用した商品販売促進事業			

産業の振興	52	おもてなしのまち推進事業	18
	53	森林セラピー魅力創出事業	
	54	大友プロモーション事業	
	55	大分ブランドプロモーション戦略事業	19
	56	アートを活かしたまちづくり事業	
都市基盤の整備	57	浄化槽設置整備費補助事業	20
	58	大分市中心市街地活性化事業	
	59	大分都心南北軸トータルデザイン設計事業	
	60	三佐北地区住環境整備事業	
	61	浜町・芦崎・新川地区住環境整備事業	21
	62	滝尾中部地区住環境整備事業	
	63	細地区住環境整備事業	
	64	横尾土地区画整理事業	22
	65	大分駅南土地区画整理事業	
	66	ふれあい交通運行事業	
	67	大分駅高架下西駐輪場整備事業	23
	68	老朽危険空き家等除却促進事業	
	69	ふるさと団地の元気創造推進事業	
	70	(仮称) 佐賀関本町住宅建設事業	24
	71	小屋鶴住宅建設事業	
72	(仮称) 敷戸南台住宅建設事業		

※人件費については、職員1人当たりの年間平均給与をもとに算定しています。

平成25年度重点事業の成果

1				
	担当課	総務課		
事業名	大分市誕生100年市民企画実施事業	事業年度	平成24年度～25年度	
事業内容	大分市誕生100年を記念し、企画から実施までを市民自らが行う市民企画実施事業を募集し、採択をされた事業者に対し補助金を支出する。			
決算額(千円)	9,058	内訳	事業費	7,538
			人件費	1,520
実施内容	推進委員会の選考結果をもとに採択された3事業を実施。 ①古里のとり料理の祭典チキスタ！2013(1,200千円)、②大分市誕生100年記念祝賀音楽会(1,866千円)、 ③祝 大分市誕生100年 山車フェスティバル 頑張れ日本！！－絆－(4,472千円)			
成果等	市民が企画から実施までを主体となって行うことにより、特色のある魅力あふれる事業を実施することができ、次の100年に向けさらに大分市を盛り上げるものとなった。			
25年度予算額(千円)	10,870	内訳	事業費	9,350
			人件費	1,520
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	7事業を実施 (準備事業を含む)	3事業を実施	—	—
2				
	担当課	市民協働推進課		
事業名	地域づくり交付金モデル事業	事業年度	平成25年度～	
事業内容	地域住民が主体的に地域課題を考え、解決策を検討する仕組みを構築するきっかけづくりとして、モデル校区において財源と権限を地域住民に移譲し、地域コミュニティの再生を図る。			
決算額(千円)	37,603	内訳	事業費	27,723
			人件費	9,880
実施内容	5つの校区のまちづくり協議会に、既存の5つの補助金等をまとめ、地域の実情に応じて活用が出来る交付金として交付する。 金池校区まちづくり協議会(5,624千円)、春日まちづくり推進協議会(8,470千円)、豊府の郷町づくり推進協議会(3,285千円)、駕野校区まちづくり協議会(5,004千円)、丹生地区まちづくり協議会(5,340千円)			
成果等	地域住民自らが自主的・自立的に地域課題を解決し、また地域住民の創意工夫により地域の活性化を図ることができた。			
25年度予算額(千円)	37,623	内訳	事業費	27,743
			人件費	9,880
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	5つの校区のまちづくり協議会に交付金を交付	5つの校区のまちづくり協議会に交付金を交付	26年度中に本事業の検証を行い、継続、変更、廃止等について検討を行う
3				
	担当課	市民協働推進課		
事業名	地域まちづくり活性化事業	事業年度	平成18年度～	
事業内容	本庁管内においては地区公民館ごと、支所及び出張所管内においては各支所及び明野出張所区域を単位として配置された市民協働推進担当が直接地域に出向き、事業の趣旨や進め方などを説明し、「市民総参加と協働」のもと、多くの市民が参画できるよう取組を進める。			
決算額(千円)	66,203	内訳	事業費	22,123
			人件費	44,080
実施内容	環境美化、多世代交流、防犯、健康づくりといった地域課題に対し、市民自らが課題解決に向けた事業を提案し、行政と協働で取り組み、地域の課題解決を図った。			
成果等	地域課題が解決されるとともに、地域への愛着心の高揚や「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という機運の醸成が図られ、地域活性化や新たな魅力創出に繋がった。			
25年度予算額(千円)	75,724	内訳	事業費	31,644
			人件費	44,080
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	中心部5地区公民館を含む全域での事業実施	中心部5地区公民館を含む全域での事業実施	中心部5地区公民館を含む全域での事業実施	中心部5地区公民館を含む全域での事業実施

平成25年度重点事業の成果

4				
	担当課	市民協働推進課		
事業名	ご近所の底力再生事業	事業年度	平成18年度～	
事業内容	自治会が地域の課題解決やふれあいの場づくりのために行う自主的な事業に助成金を交付する。 助成限度額 1～30世帯まで 30,000円 31～50世帯まで 35,000円 以降50世帯ごとに 5,000円を加算			
決算額(千円)	57,679	内訳	事業費	31,839
			人件費	25,840
実施内容	申請自治会数 528自治会 申請率 85.7%			
成果等	自治会の自主的、主体的な取組が住民の交流、連帯感を深め地域コミュニティの再生に繋がった。			
25年度予算額(千円)	60,436	内訳	事業費	35,356
			人件費	25,080
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	自治会の課題解決への取組に対する相談受付・補助	自治会の課題解決への取組に対する相談受付・補助	自治会の課題解決への取組に対する相談受付・補助	自治会の課題解決への取組に対する相談受付・補助
5				
	担当課	市民協働推進課		
事業名	小規模集落・里のくらし支援事業	事業年度	平成24年度～	
事業内容	地域住民やNPO、各種団体等の様々な主体が、生活用水の施設整備や農産物加工施設の改修等といった集落の維持や活性化につながる長期に機能する取組(「大分県小規模集落・里のくらし支援事業」に該当する事業)を行う場合に、対象事業費の19/20を補助する。 (県の補助事業・・・上限380万円、県補助3/4以内) (小規模な給水施設等整備・・・上限95万円) 補助対象自治会: 65歳以上の人口が50%以上の自治区において結成された自治会			
決算額(千円)	14,085	内訳	事業費	11,805
			人件費	2,280
実施内容	生活用水の給水施設整備 申請自治会数: 9自治会(大南)(うち県補助対象3自治会)			
成果等	中山間地域など条件不利地域の小規模集落への集落の存続支援や活性化が図られた。			
25年度予算額(千円)	15,040	内訳	事業費	12,000
			人件費	3,040
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	中山間地域など条件不利地域での生活用水の給水施設整備	中山間地域など条件不利地域での生活用水の給水施設整備	中山間地域など条件不利地域での生活用水の給水施設整備	中山間地域など条件不利地域での生活用水の給水施設整備
6				
	担当課	文化国際課		
事業名	(仮称)男女共同参画センター整備事業	事業年度	平成25年度	
事業内容	男女共同参画社会の実現を図るため、時代の要請に即した様々な啓発活動や各種講座の開催、活動団体の育成・支援など、より実効性のある事業展開を行う拠点施設として「(仮称)男女共同参画センター」を設置する。			
決算額(千円)	24,374	内訳	事業費	20,574
			人件費	3,800
実施内容	改修工事を始め、備品調達などハード面の整備及び、施設の設置に向けて庁内関係課や男女共同参画審議会などで運営や施設整備についての具体的な検討・協議を行った。			
成果等	男女共同参画センターの整備の完了により事業が終了し、平成26年度4月に開設。			
25年度予算額(千円)	24,500	内訳	事業費	20,700
			人件費	3,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	改修工事 備品調達など開設準備	供用開始	—

平成25年度重点事業の成果

7				
			担当課	障害福祉課
事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業年度	年度～
事業内容	障がい者が自立した生活を行い、住み慣れた地域で暮らしていけるよう「第3期大分市障害福祉計画」に沿って障がい者福祉施設の整備を進める。			
決算額(千円)	94,190	内訳	事業費	91,910
			人件費	2,280
実施内容	①多機能型(就労継続支援B型・生活介護)事業所の改築に対する施設整備補助 ②共同生活援助・短期入所事業所の創設に対する施設整備補助(工事進捗率約7割分) ③共同生活介護・短期入所事業所の創設に対する施設整備補助			
成果等	①多機能型(就労継続支援B型・生活介護)事業所「ワークスペース檜の木」改築(定員20名) ②共同生活援助・短期入所事業所「グループホームきずな」創設(定員5名)平成26年4月完成 ③共同生活介護・短期入所事業所「ケアホームスペアミント」創設(定員9名)			
25年度予算額(千円)	117,210	内訳	事業費	114,930
			人件費	2,280
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	施設の新設・改築等	施設の新設・改築等	施設の新設・改築等	施設の新設・改築等
8				
			担当課	長寿福祉課
事業名	老人福祉施設等整備事業		事業年度	年度～
事業内容	「大分市高齢者福祉計画及び大分市介護保険事業計画(長寿いきいき安心プラン)」により、地域密着型サービスの施設整備を行い、住み慣れた地域で安心した生活を維持できるよう努める。			
決算額(千円)	384,560	内訳	事業費	368,600
			人件費	15,960
実施内容	介護基盤緊急整備事業として、特別養護老人ホームに116,000千円/施設、介護老人保健施設に50,000千円/施設、グループホームに30,000千円/施設、小規模多機能型居宅介護事業所に30,000千円/施設、認知症対応型通所介護に10,000千円/施設を補助する。 また、施設開設準備経費助成事業として、600千円/床を補助する。			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護基盤緊急整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム 1施設(116,000千円) 介護老人保健施設 1施設(50,000千円) グループホーム 3施設(90,000千円) 小規模多機能型居宅介護 1施設(30,000千円) 認知症対応型通所介護 1施設(10,000千円) ・施設開設準備経費助成事業 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム 1施設(17,400千円) 介護老人保健施設 1施設(17,400千円) グループホーム 3施設(32,400千円) 小規模多機能型居宅介護 1施設(5,400千円) 			
25年度予算額(千円)	490,360	内訳	事業費	474,400
			人件費	15,960
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	(～23年度以前)第4期整備 (24年度)施設整備事業者公募	特別養護老人ホーム 1施設 介護老人保健施設 1施設 グループホーム 3施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 認知症対応型通所介護 1施設	特別養護老人ホーム 1施設 認知症対応型通所介護 1施設 複合型サービス 2施設	施設整備事業者公募
9				
			担当課	長寿福祉課
事業名	高齢者ワンコインバス事業		事業年度	平成16年度～
事業内容	65歳以上の高齢者に対し、バス乗車料金の一部を助成することにより、生きがいを持ち気軽に外出できる環境を作り、自立した健康的な生活や積極的な社会参加を促進する。			
決算額(千円)	297,600	内訳	事業費	290,000
			人件費	7,600
実施内容	市内の一般路線バスを利用する際、市が発行する「ワンコインバス乗車証」をバス乗務員に提示することで1乗車一律100円の利用者負担額で乗車できる。平成25年7月から対象者を65歳以上に拡大した。			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・交付者数 79,676人 (65歳以上人口 109,325人) ・利用回数 2,888,327回 			
25年度予算額(千円)	297,600	内訳	事業費	290,000
			人件費	7,600
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	運賃 一律 100円(70歳以上)	運賃 一律 100円 7月から対象者65歳以上	運賃 一律 100円	運賃 一律 100円

平成25年度重点事業の成果

10					担当課	子ども保育課
事業名	私立認可保育所施設整備事業		事業年度	年度～		
事業内容	私立認可保育所の増改築等の施設整備に対して補助を実施する。保育所の入所希望者の増加に対応するため、入所定員の拡大を図るとともに、老朽化した施設を建て替えることにより安全で快適な保育環境を提供し、さらに多様化する保育ニーズにも対応する。					
決算額(千円)	238,723	内訳	事業費	231,123		
			人件費	7,600		
実施内容	高田のぞみ保育園他2施設の増改築、キッズアカデミー保育園他2施設の改築、及び緑が丘保育園の分園創設に伴う建設費助成					
成果等	高田のぞみ保育園(110名→170名)、めぐみ保育園(90名→120名)、且の原保育園(110名→140名)、キッズアカデミー保育園(改築)、松岡保育園(改築)、とりい保育園(改築)、緑が丘保育園(100名→120名)					
25年度予算額(千円)	261,778	内訳	事業費	254,178		
			人件費	7,600		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	しらとり保育園(増改築)定員150人→180人 賀来保育園(増改築)定員60人→90人 コスモス保育園(新築)定員90人	高田のぞみ保育園他2園(増改築)定員310人→430人、保育環境改善のための改築3施設、緑が丘保育園分園(創設)定員100人→120人	天心保育園他6園(増改築)定員780人→1,066人 保育環境改善のための改築(ゆりかご保育園)みどり幼稚園他1施設(創設)84人	未定		
11					担当課	子ども保育課
事業名	保育所分園推進事業		事業年度	平成25年度		
事業内容	保育所入所待機児童の解消を図るため、これまでの認可保育所の新設や増改築等による定員拡大に加えて、既存建物等を活用した分園の取り組みによる定員拡大を実施する。					
決算額(千円)	63,147	内訳	事業費	60,107		
			人件費	3,040		
実施内容	保育所の分園を設置運営するにあたり、賃貸物件等による保育所の分園設置に要する費用の一部及び分園実施保育所の運営に係る経費の一部を補助する。					
成果等	明野しいのみ保育園(分園定員12人)、キッドワールド保育園(分園定員90人)、たかお保育園(分園定員30人)、みんなの森こども園(分園定員40人)、植田保育園(分園定員10人)、緑が丘保育園(分園定員20人)					
25年度予算額(千円)	91,290	内訳	事業費	88,250		
			人件費	3,040		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	—	明野しいのみ保育園他5園の分園実施	分園実施施設の賃借料及び分園推進事業費の補助	分園実施施設の賃借料及び分園推進事業費の補助		
12					担当課	子ども保育課
事業名	新桜町保育所民営化移行事業		事業年度	平成25年度		
事業内容	民間活力を活用するとともに、「待機児童の解消」や、保護者の多様化する保育ニーズに応えるための「特別保育事業の拡充」を図るため、大分市新桜町保育所の民営化及び園舎の建替えを行う。 また、子どもや保護者の精神的な不安を最小限に抑えるため、移管前の3ヶ月間は、新桜町保育所と移管先法人の保育士等で共同保育を実施する。					
決算額(千円)	133,644	内訳	事業費	132,124		
			人件費	1,520		
実施内容	旧園舎解体工事、園舎の建設費の助成、及び共同保育事業の実施					
成果等	定員の拡大(50人→90人)					
25年度予算額(千円)	138,254	内訳	事業費	136,734		
			人件費	1,520		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	—	旧園舎解体工事 園舎の建設費の助成 及び共同保育事業の実施	桜町保育園開所	—		

平成25年度重点事業の成果

13					担当課	子育て支援課
事業名	子育て交流センター運営事業			事業年度	平成25年度～	
事業内容	ホルトホール大分内に、中央こどもルーム新設の他、既存の地域子育て支援センターやにこにこルーム、ファミリー・サポート・センターの機能を集約することにより、本市の子育て支援拠点施設として、主に0歳から妊産婦を対象に「子どもの育ちの支援」「親の子育て支援」「地域でも子育て支援」の視点にたった遊び場、子育て相談、子育て情報の入手や親子の交流が図れる場を提供する。					
決算額(千円)	59,652	内訳		事業費	57,372	
				人件費	2,280	
実施内容	①子どもの育ちの支援・・・いつでも相談できる環境を整え、子育てに悩む保護者の支援を行うとともに、発達に応じてゆっくり遊べる場の提供を行い、感性豊かに育つよう支援する。 ②親の子育て支援・・・子育て相談や子育て教室等を通して子育ての悩みやストレスから解放されたり、子どもの関わり方など学びながら自己肯定感を持てるよう支援を行う。 ③地域子育て支援・・・地域の子育てサロンやサークルなどへの訪問支援等を行う。					
成果等	子育て支援の拠点施設としての役割を担い、子育て交流センター内の機能が相互に緊密に連携するとともに、10か所の「こどもルーム」、地域の「子育てひろば」と連携した子育て支援体制を構築することで、迅速できめ細やかな支援が可能となった。					
25年度予算額(千円)	67,827	内訳		事業費	65,547	
				人件費	2,280	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	-	H25.7.20新設	広報等により利用の促進及び支援の拡大を図る	広報等により利用の促進及び支援の拡大を図る		
14						
事業名	子ども医療助成事業			事業年度	昭和48年度～	
事業内容	将来を担う子どもたちの健全な育成と子育て世帯の経済的負担を軽減し少子化対策の一層の充実を図るため、医療費(保険診療に限る)の自己負担額を助成する。					
決算額(千円)	1,106,956	内訳		事業費	1,087,956	
				人件費	19,000	
実施内容	一部自己負担金を無料にしている範囲を平成25年10月診療分より3歳未満から未就学児までに拡大した。					
成果等	子ども医療費を助成することにより、子育ての経済的負担を軽減するとともに傷病の早期発見、早期治療ができ、少子化対策の一環を担うことができた。					
25年度予算額(千円)	1,159,465	内訳		事業費	1,140,465	
				人件費	19,000	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	H22年10月診療分から小・中学生の入院を助成対象とした	一部自己負担金の無料対象を未就学児まで拡大	子どもの医療費の自己負担額を助成	子どもの医療費の自己負担額を助成		
15						
事業名	慢性腎臓病対策推進事業			事業年度	平成24年度～	
事業内容	市民へ慢性腎臓病や高血圧・糖尿病等の生活習慣病予防の普及啓発を行うとともに、かかりつけ医と腎臓専門医との病診連携システムの推進を図り、慢性腎臓病の重症化予防と新規人工透析患者の減少を目指す。					
決算額(千円)	36,366	内訳		事業費	5,206	
				人件費	31,160	
実施内容	①「大分市慢性腎臓病病診連携システム検討委員会」開催、②「世界腎臓デーイベント2014in大分」の開催(平成26年3月8日:参加者数約700人)、③特定健診受診者へ慢性腎臓病(CKD)普及啓発チラシを配布(約21,000枚配布)、④慢性腎臓病(CKD)ハイリスク者への保健指導					
成果等	平成25年4月1日から「大分市慢性腎臓病病診連携システム」の運用を開始した。また、世界腎臓デーに合わせたイベントの開催や、特定健診受診者へのチラシ配布により、慢性腎臓病や糖尿病・高血圧等の生活習慣病予防に対する市民の意識を高めるとともに、特定健診受診後のCKDハイリスク者へ受診勧奨及び保健指導を行うことで重症化予防に努めた。					
25年度予算額(千円)	37,034	内訳		事業費	5,874	
				人件費	31,160	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	「大分市慢性腎臓病病診連携システム検討委員会」開催 「市民公開講座」開催	「大分市慢性腎臓病病診連携システム」運用開始 市民に対して普及啓発及びハイリスク者に対する保健指導	「大分市慢性腎臓病病診連携システム」の推進 市民に対して普及啓発及びハイリスク者に対する保健指導	詳細は未定		

平成25年度重点事業の成果

16					担当課	文化国際課
事業名	おおいた夢色音楽プロジェクト			事業年度	平成20年度～	
事業内容	市民に身近な場所でミニコンサートを開催するなど、年間を通じて音楽の溢れるまちづくりを実現するとともに、団塊の世代をはじめあらゆる世代が参加交流できるイベントである「おおいた夢色音楽祭」の開催を支援する。					
決算額(千円)	20,026	内訳		事業費	12,426	
				人件費	7,600	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいた夢色音楽祭の開催支援 ・市主催事業の開催 「ふるさとコンサート」、「いかした大人たちのバンドフェス」、「大分市どこでもコンサート(9ヶ所)」 					
成果等	大分市の新たな魅力として情報発信することで出演者、聴衆、観光客などを誘引して中心市街地の賑わいを創出し、多様な世代が参加することで人材の育成と音楽文化の振興につながった。 「おおいた夢色音楽祭2013」(10/12～13) 出演者数:245組 871名(39ステージ)、来場者数:約51,000人					
25年度予算額(千円)	20,400	内訳		事業費	12,800	
				人件費	7,600	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	ミニコンサート及び音楽祭の開催	ミニコンサート及び音楽祭の開催	ミニコンサート及び音楽祭の開催	ミニコンサート及び音楽祭の開催		
17					担当課	文化国際課
事業名	ホームタウン推進事業			事業年度	平成18年度～	
事業内容	本市をホームタウンとし、国内トップレベルのリーグで活躍するスポーツチームを通してスポーツ文化の振興を図るため、ホームゲームへの市民観戦招待などの事業を実施するとともに、おおいたホームタウン推進協議会を通じ地域でチームを支える体制をつくり、市民協働によるスポーツを活かしたまちづくりを進める。					
決算額(千円)	56,288	内訳		事業費	48,688	
				人件費	7,600	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲーム市民観戦招待事業、大分市ホームタウンDAYの開催、プロスポーツふれあい促進事業の実施等 ・おおいたホームタウン推進協議会による交流イベントの開催等 					
成果等	スポーツ観戦・応援を通して市民の一体感が醸成されることで、地域コミュニティ再生や地域活動の活性化のみならず、スポーツ文化の振興による市民の健康増進や青少年の健全育成に活かすことができた。 ・ホームゲーム市民観戦招待実績:19,762人(4チーム合計) ・大分市ホームタウンDAY:8月10日開催(大分銀行ドーム)					
25年度予算額(千円)	60,967	内訳		事業費	49,567	
				人件費	11,400	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	市民観戦招待事業・おおいたスポーツ広場の開催等	市民観戦招待事業 ・プロスポーツふれあい促進事業 ・おおいたスポーツ広場の開催等	市民観戦招待事業 ・プロスポーツふれあい促進事業 ・おおいたスポーツ広場の開催等	市民観戦招待事業 ・プロスポーツふれあい促進事業 ・おおいたスポーツ広場の開催等		
18					担当課	学校教育課
事業名	(仮称)大分市教育センター整備事業			事業年度	平成24年度～25年度	
事業内容	教育水準の向上や、教育内容、教育方法の改善を図るため、教職員の実践的指導力の向上を図る研修、各種調査研究、教育相談、教育諸情報の収集・発信などの広範囲な機能を備えた「大分市教育センター」を設置する。					
決算額(千円)	306,353	内訳		事業費	298,753	
				人件費	7,600	
実施内容	「大分市教育センター」として利用するため、平成25年度は「社会福祉センター」の建物・機械設備・電気設備・空気調和設備・給排水衛生設備等の改修工事や、箱庭・一体型電子黒板等の備品等の調達、搬送業務を行った。					
成果等	大分市教育センターの整備が完了し、良好な教職員研修、教育相談等を行う環境の整備・充実が図れた。					
25年度予算額(千円)	316,100	内訳		事業費	308,500	
				人件費	7,600	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	設計委託	改修工事 設備・機器等の整備	供用開始 (H26.4.1)	—		

平成25年度重点事業の成果

19				
			担当課	教育センター
事業名	不登校対策事業		事業年度	平成25年度～
事業内容	社会福祉等の専門的な知識や経験に加えて、教育分野に関する知識のある社会福祉士をスクールソーシャルワーカーとして子ども教育相談センターに配置し、学校や家庭への助言・働きかけを通じて不登校の解消と未然防止に向けた取組を行う。			
決算額(千円)	10,020	内訳	事業費	7,740
			人件費	2,280
実施内容	スクールソーシャルワーカー3名を配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけを行い、その改善に向けた支援を行うとともに、学校への助言等をとおして、学校の教育相談体制の整備・充実を図りながら、不登校の解消と未然防止に向けた取組を行った。			
成果等	延べ相談件数 2,441件 問題対応件数 438件 うち好転件数285件(65.1%)			
25年度予算額(千円)	10,999	内訳	事業費	8,719
			人件費	2,280
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	スクールソーシャルワーカーを配置し事業実施	スクールソーシャルワーカーを配置し事業実施	スクールソーシャルワーカーを配置し事業実施
20				
			担当課	学校施設課
事業名	小中学校校舎等耐震化推進事業		事業年度	平成15年度～26年度
事業内容	平成17年度までに実施した耐震診断の結果、構造耐震指標(Is値)が基準値を下回る棟から計画的に耐震化を図る。 ※25年度の小学校・中学校校舎の耐震補強工事については、24年度3月補正予算にて計上(繰越明許)し、実施した。 幼稚園の耐震化については24年度完了。			
決算額(千円)	445,520	内訳	事業費	438,148
			人件費	7,372
実施内容	校舎耐震補強工事 396,890千円 校舎耐震補強工事設計委託 41,258千円			
成果等	平成25年度に小学校13校(14棟)、中学校3校(3棟)の耐震補強工事を実施し、それにより、年度末における小中学校の校舎等耐震化率は92.5%となった。			
25年度予算額(千円)	522,354	内訳	事業費	514,982
			人件費	7,372
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	耐震化率86.4%(うち屋内運動場耐震化率100%)	耐震化率92.5%(うち屋内運動場耐震化率100%)	耐震補強工事 小学校 12校(12棟) 中学校 4校(4棟)	—
21				
			担当課	学校施設課
事業名	南大分小学校施設整備事業		事業年度	平成21年度～25年度
事業内容	校舎の耐震診断の結果や耐用年数、児童数の推移等を総合的に勘案し、校舎・屋内運動場・プール等、全面的な改築を行うことで、施設の機能充実と教育環境の整備・充実を図る。 校舎建築概要:面積6,734㎡ RC造4階建て 供用開始:平成25年1月			
決算額(千円)	210,885	内訳	事業費	193,785
			人件費	17,100
実施内容	グラウンド整備工事 125,471千円 旧校舎解体工事 54,071千円 文化財試掘調査委託等 4,505千円			
成果等	校舎等が完成し、良好な教育環境の整備・充実が図れた。			
25年度予算額(千円)	217,100	内訳	事業費	200,000
			人件費	17,100
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	仮設教室設置 新校舎等建築工事完成	グラウンド整備 中・北校舎解体工事完了	—	—

平成25年度重点事業の成果

22				
事業名			担当課	学校施設課
春日町小学校北校舎改築事業			事業年度 平成22年度～26年度	
事業内容 校舎の耐震診断の結果や耐用年数、児童数の推移、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。				
校舎建築概要:面積3,014㎡ RC造4階建て 供用開始:平成26年1月				
決算額(千円)		497,732	内訳	
			事業費	479,998
			人件費	17,734
実施内容		校舎改築工事 428,803千円 仮設教室借上 13,355千円		
成果等		校舎が完成し、良好な教育環境の整備・充実が図れた。		
25年度予算額(千円)		505,734	内訳	
			事業費	488,000
			人件費	17,734
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	仮設教室設置 新校舎建築工事着工	新校舎建築工事完成 仮設教室撤去	グラウンド整備	—
23				
事業名			担当課	学校施設課
鶴崎小学校北校舎改築事業			事業年度 平成22年度～27年度	
事業内容 校舎の耐震診断の結果や耐用年数、児童数の推移、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。				
校舎建築概要:面積3,938㎡(予定) RC造4階建て 供用開始:平成27年3月(予定)				
決算額(千円)		108,166	内訳	
			事業費	100,249
			人件費	7,917
実施内容		校舎改築工事等 63,679千円 文化財試掘調査委託等 20,465千円 仮設教室借上 14,519千円		
成果等		旧校舎の解体が完了し、校舎改築工事に着手した。		
25年度予算額(千円)		119,917	内訳	
			事業費	112,000
			人件費	7,917
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	旧校舎解体 新校舎建築設計 仮設教室設置	新校舎建築工事着工 文化財調査	新校舎建築工事完成	グラウンド整備 仮設教室撤去
24				
事業名			担当課	学校施設課
大在小学校施設整備事業			事業年度 平成24年度～28年度	
事業内容 校舎の耐震診断の結果や耐用年数、児童数の推移、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。				
校舎建築概要:面積6,250㎡(予定) RC造4階建 供用開始:平成28年1月(予定)				
決算額(千円)		180,776	内訳	
			事業費	173,809
			人件費	6,967
実施内容		校舎改築設計業務委託 27,762千円 校舎解体設計業務委託 2,363千円 仮設教室借上 108,804千円		
成果等		26年度着工に向け、校舎改築設計が完了した。		
25年度予算額(千円)		197,967	内訳	
			事業費	191,000
			人件費	6,967
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	地質等調査	新校舎建築設計 旧校舎解体設計 仮設教室設置	新校舎建築工事着工 旧校舎解体	新校舎建築工事完成 仮設教室撤去 グラウンド整備

平成25年度重点事業の成果

25				
	担当課	学校施設課		
事業名	大在中学校施設整備事業	事業年度	平成20年度～28年度	
事業内容	平成22年度の新南校舎完成に引き続き、北西校舎についても耐震診断結果や耐用年数、今後さらに増加する見込みである生徒数、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。 校舎建築概要:面積1,841㎡(予定) RC造4階建て 供用開始:平成28年1月(予定)			
決算額(千円)	28,897	内訳	事業費	25,097
			人件費	3,800
実施内容	校舎改築設計業務委託 12,920千円 校舎解体設計業務委託 1,103千円 グラウンド西側樹木撤去及び移植工事 4,032千円			
成果等	26年度着工に向け、校舎改築設計が完了した。			
25年度予算額(千円)	36,800	内訳	事業費	33,000
			人件費	3,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	新南校舎建築工事完成	新校舎建築設計 旧校舎解体設計	新校舎建築工事着工 旧校舎解体 一時使用教室(西棟)解体	新校舎建築工事完成 一時使用教室(東棟)移設 グラウンド整備
26				
	担当課	社会教育課		
事業名	あいさつOITA+1運動推進事業	事業年度	平成22年度～	
事業内容	あいさつに一言をプラスして会話を広げ、人と人との絆を深めることで地域ぐるみの子育てに取り組む機運を醸成するとともに、市民協働のまちづくりの新たな柱として位置づけられた「あいさつと笑顔があふれるまちづくり」の実現を目指す。			
決算額(千円)	12,754	内訳	事業費	3,634
			人件費	9,120
実施内容	登下校中の小中学生に積極的にあいさつ(声かけ)をしたり、あいさつ運動についての広報活動や啓発活動を行う団体、事業所等を「あいさつOITA+1運動広め隊」として登録し、地域でのあいさつ運動時等に用いる啓発グッズを交付した。また本運動の意義や活動内容についての理解を深めるために「あいさつOITA+1運動広め隊交流会」や運動の全市的な拡大をねらいとした「全市いっせい『あいさつOITA+1』大作戦」を行った。広め隊の登録については全小学校区に拡大した。			
成果等	各地域が「あいさつOITA+1運動」に取り組むことにより、子どもたちを地域ぐるみで育てようという機運が醸成され、地域住民の絆づくりにつながっている。また、市民協働のまちづくりの新たな柱として位置づけられた「あいさつと笑顔があふれるまちづくり」の推進へ寄与している。			
25年度予算額(千円)	13,089	内訳	事業費	3,969
			人件費	9,120
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	全小学校区での「あいさつOITA+1運動広め隊」の登録と全市的な活動	「あいさつOITA+1運動広め隊」と連携した全市的な「あいさつOITA+1運動」の展開	「あいさつOITA+1運動広め隊」と連携した全市的な「あいさつOITA+1運動」の展開	「あいさつOITA+1運動広め隊」と連携した全市的な「あいさつOITA+1運動」の展開
27				
	担当課	文化財課		
事業名	大友氏遺跡保存整備事業	事業年度	平成11年度～29年度	
事業内容	大友氏館跡を中心とする大友氏遺跡は、我が国の中世を代表する貴重な歴史遺産であり、また、東南アジア、ヨーロッパなど海外との広い繋がりを示す貴重な史跡として評価されている。本事業は、発掘調査による資料収集や史跡の保存・整備を行うことにより史跡を活かしたまちづくりに寄与する。			
決算額(千円)	524,324	内訳	事業費	486,324
			人件費	38,000
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地内の建物の移転補償をし、県土地開発公社による先行取得地を買い戻した。 ・大友氏館跡内の1箇所を発掘調査(確認調査)を行った。 ・「史跡大友氏遺跡」保存管理計画書(整備基本構想含む)を作成した。 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の公有化面積(2,938.71㎡) ・建物移転補償(個人住宅1件) ・大友氏館跡第30次調査(調査面積 計508.1㎡) 			
25年度予算額(千円)	599,517	内訳	事業費	561,517
			人件費	38,000
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	整備基本構想策定 大友氏遺跡確認調査 建物移転補償・土地買上げ 史跡用地管理運営	保存管理計画書策定 大友氏遺跡確認調査 建物移転補償・土地買上げ 史跡用地管理運営	整備基本計画策定 大友氏遺跡確認調査 建物移転補償・土地買上げ 史跡用地管理運営	整備基本・実施設計策定(庭園) 大友氏遺跡確認調査 建物移転補償・土地買上げ 史跡用地管理運営

平成25年度重点事業の成果

28				
	担当課	文化財課		
事業名	大友氏遺跡情報発信事業	事業年度	平成24年度～	
事業内容	大分の歴史遺産である大友氏遺跡、大友氏の実像を全国にPRするとともに、市民に学習の場を提供し、「郷土への誇り」の育成を行う。			
決算額(千円)	67,254	内訳	事業費	29,254
			人件費	38,000
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏遺跡体験学習館において、史跡や大友氏遺跡事業に関する各種講座、体験学習等を行った。 ・上智大学との共同開催により大分市にて連携講座や国際フォーラムを開催。 ・大友宗麟の副読本を作成し、市内小学校6年生に配布した。 ・大友氏遺跡フェスタを開催。 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市・上智大学連携南蛮文化国際フォーラム 入場者数 1,493人 ・大分市・上智大学連携講座 開催回数 8回 受講者数 1,178人 ・大友氏遺跡体験学習館 入館者数 9,861人 			
25年度予算額(千円)	75,205	内訳	事業費	37,205
			人件費	38,000
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏遺跡体験学習館運営 ・大友氏遺跡フェスタ ・大分市上智大学連携講座 ・大友宗麟副読本作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏遺跡体験学習館運営 ・大友氏遺跡フェスタ ・南蛮文化国際フォーラム ・大分市・上智大学連携講座 ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会事業等 	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏遺跡体験学習館運営 ・大友氏遺跡フェスタ ・文化遺産を活かした地域活性化事業 ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏遺跡体験学習館運営 ・大友氏遺跡フェスタ ・文化遺産を活かした地域活性化事業 ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会事業
29				
	担当課	スポーツ・健康教育課		
事業名	大分っ子体力アップわくわく事業	事業年度	平成25年度～	
事業内容	平成24年度に行われた調査項目8種目からなる体力・運動能力調査の結果、小学校の全60校のうち50%以上の項目が全国平均を上回った学校は13校(21%)と低い状況であったことから、地域の人材や専門的知識を持った指導者による体育授業のサポートや指導を行うことにより児童の体力向上を図る。			
決算額(千円)	4,877	内訳	事業費	1,077
			人件費	3,800
実施内容	陸上・器械運動サポート教室 鴛野小他12校 体づくり運動サポート教室 高田小他4校			
成果等	平成25年度の体力運動能力調査において、小学校では96項目中54項目で全国平均を上回り、全国平均達成率は44%と昨年度の13%から着実に向上している。			
25年度予算額(千円)	5,300	内訳	事業費	1,500
			人件費	3,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	陸上・器械運動(小学校13校)、体づくり運動(小学校5校)の教室開催	陸上・器械運動(小学校14校)、体づくり運動(小中学校20校)の教室開催	陸上・器械運動(小学校14校)、体づくり運動(小中学校20校)の教室開催
30				
	担当課	スポーツ・健康教育課		
事業名	全国高等学校総合体育大会開催事業	事業年度	平成24年度～ 25年度	
事業内容	24年度より大分市実行委員会を立ち上げ、市内で行われる陸上、バスケットボール、ソフトテニスの競技運営等準備を行い、25年度全国高等学校総合体育大会を大分県、福岡県、佐賀県、長崎県の北部九州4県で開催した。			
決算額(千円)	57,348	内訳	事業費	34,548
			人件費	22,800
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会及び各種3専門委員会の開催 ・本市開催予定の3競技(陸上競技、ソフトテニス競技、バスケットボール競技)の開催準備、運営 			
成果等	大分市開催の3競技会が成功裏に終了した。			
25年度予算額(千円)	68,800	内訳	事業費	46,000
			人件費	22,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	大分市実行委員会の設立 広報啓発活動	本大会開催 (7月28日(日)～8月20日(火))	—	—

平成25年度重点事業の成果

31				
			担当課	総務課
事業名	明野書庫整備事業		事業年度	平成25年度～26年度
事業内容	本庁舎地下書庫に保管している公文書を、将来的に発生が想定される南海地震等による津波や洪水等の浸水被害から守るため、旧明野共同調理場を書庫として利用できるよう場内改修工事等を行う。 また、改修後は書架を設置し、公文書を移転する。			
決算額(千円)	25,271	内訳	事業費	23,751
			人件費	1,520
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根、天井及び床等改修工事(10月～2月) ・電気、機械設備工事(10月～2月) ・書架設計、加工(2月～3月) 			
成果等	場内の改修工事及び書架の設計が完了し、26年度に書架の設置及び公文書を移転させるための準備が整った。			
25年度予算額(千円)	27,120	内訳	事業費	25,600
			人件費	1,520
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	施設改修工事 書架設計・加工	書架配置 公文書移転	—
32				
			担当課	消防局
事業名	消防局庁舎増築事業		事業年度	平成24年度～26年度
事業内容	平成26年度更新予定の指令装置及び現庁舎地下1階に設置している非常用発電設備の移設場所を確保するため、現庁舎の北側に増築を行う。また、既存庁舎の空いたスペースを有効に活用して、災害時における消防対策本部室等の整備を行い、消防体制の機能充実を図る。			
決算額(千円)	112,877	内訳	事業費	112,292
			人件費	585
実施内容	庁舎等増築工事 112,084千円(1年目)			
成果等	庁舎増築工事に着手した。(※平成26年6月完成 7月14日供用開始)			
25年度予算額(千円)	124,913	内訳	事業費	124,328
			人件費	585
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	地質調査 増築設計	本体工事	本体工事 備品等整備	—
33				
			担当課	消防局
事業名	消防局野津原出張所移転建設事業		事業年度	平成24年度～25年度
事業内容	老朽化が進む野津原出張所を移転建設し、野津原地区の防災拠点として消防力・救急体制の強化を図る。			
決算額(千円)	92,020	内訳	事業費	91,435
			人件費	585
実施内容	庁舎等改築工事 89,127千円 備品購入費 1,476千円			
成果等	平成26年3月14日に完成し、3月20日より供用開始した。			
25年度予算額(千円)	98,435	内訳	事業費	97,850
			人件費	585
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	地質調査新築設計	本体工事 備品等整備	—	—

平成25年度重点事業の成果

34					担当課	防災危機管理課
事業名	被災者救援物資等備蓄事業			事業年度	平成25年度～	
事業内容	大規模地震に備え、被災1日後の想定避難者数約10万人分の食料や水、非常用トイレなどの救援物資を地域の防災拠点となる小中学校等に備蓄する。目標数量は、想定避難者の3日分(1人の1日分は、食糧3食・水3リットル)を、①自助・共助 ②公助の流通備蓄 ③公助の現物備蓄(うち、県と市が半分ずつ)でそれぞれ1日分ずつ整備し、市は、想定避難者1人につき食糧1.5食、水1.5リットルを目標に整備する。					
決算額(千円)	42,095	内訳		事業費	40,575	
				人件費	1,520	
実施内容	保存食糧・飲料水 7,940千円 / 生活必需品等 2,426千円 / 避難所用資機材等 30,209千円 整備箇所:ホルトホール大分防災倉庫、小中学校等 当初は14万4,000人の1日分としていたが、県による被害想定及び備蓄体制の見直しを受け、時点修正を行った。					
成果等	具体的な整備目標や計画を定め、備蓄台帳の整備を進めたことで情報の共有が進み、大規模災害時の対応力強化につながった。					
25年度予算額(千円)	52,851	内訳		事業費	51,331	
				人件費	1,520	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	—	主な備蓄品目 非常食(累積) 121,250食 携帯トイレ 20,000回分 毛布(累積) 13,500枚	主な備蓄品目 非常食(累積) 145,950食 携帯トイレ 40,000回分 毛布(累積) 14,700枚	H29年度目標 非常食(累積) 145,400食 携帯トイレ 100,000回分 毛布(累積) 18,300枚		
35					担当課	防災危機管理課
事業名	情報伝達設備整備事業			事業年度	平成23年度～ 25年度	
事業内容	佐賀関地区の豊後水道沿岸部を対象に、全国瞬時警報(J-ALERT)システムで受信した情報や地域住民への避難情報などを無線送信し、伝達する同報系防災行政無線設備を整備する。					
決算額(千円)	151,334	内訳		事業費	149,814	
				人件費	1,520	
実施内容	同報系防災行政無線整備(本体工事 149,656千円 / 公有財産購入費 158千円) 親局、遠見山中継局、屋外拡声子局14局 等の整備					
成果等	佐賀関地区の豊後水道沿岸部の住民等約6,000人に対し、避難情報等の速やかな伝達が可能になった。					
25年度予算額(千円)	218,520	内訳		事業費	217,000	
				人件費	1,520	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	基本調査・電波伝播調査 実施設計	本体工事	—	—		
36					担当課	環境対策課
事業名	アライグマ防除実施事業			事業年度	平成25年度～	
事業内容	地域の生態系被害や農業被害、市民の生活環境等に影響を及ぼしている特定外来生物であるアライグマを市域内から防除するため、大分市アライグマ防除実施計画に基づき、市民へアライグマの基本的な知識等の普及啓発を行うとともに、市民や関係団体等と協働してモニタリングや捕獲等を行う。					
決算額(千円)	7,192	内訳		事業費	1,872	
				人件費	5,320	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 防除講習会の開催 防除啓発(リーフレット・ポスター配布、ホームページ掲載等) モニタリング及び一斉捕獲の実施 アライグマ殺処分業務委託の実施 等を行った。					
成果等	モニタリングをはじめ、リーフレットやポスター等の配布、市ホームページ等で情報提供を行った結果、多数のアライグマ目撃情報を収集でき、各地域の生息状況の把握と捕獲を行うことができた。また、防除講習会を開催して捕獲従事者数を増やし、地域と連携して防除に取り組む体制の構築を図ることができた。					
25年度予算額(千円)	7,528	内訳		事業費	2,208	
				人件費	5,320	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	—	<ul style="list-style-type: none"> 防除講習会の開催 モニタリング及び一斉捕獲の実施 防除啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 防除講習会の開催 新規調査地区モニタリング 一斉捕獲及び計画的捕獲の実施 防除啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 防除講習会の開催 新規調査地区モニタリング 一斉捕獲及び計画的捕獲の実施 防除啓発 		

平成25年度重点事業の成果

37				
			担当課	環境対策課
事業名	地球温暖化対策推進事業		事業年度	平成19 年度～
事業内容	大分市地球温暖化対策実行計画及び地球温暖化対策おおいた市民会議での協議を踏まえ、温室効果ガス排出量削減に向けた取組を実施し、地球温暖化対策を推進する。			
決算額(千円)	17,497	内訳	事業費	8,377
			人件費	9,120
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策おおいた市民会議の開催(4回) ・地球温暖化対策ガイドブック策定部会の開催(4回) ・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進 ・省エネチャレンジ日誌(小・中学生)の作成 ・節電啓発事業(ポスター・のぼりの設置、市報特集号・情報誌への掲載等)等を行った。 			
成果等	市民・事業者と協働して地球温暖化対策の推進を図るため、地球温暖化対策おおいた市民会議等で具体的な取組について協議・検討を行い、その取組を実施することで、地球温暖化対策に対する市民の理解を深めた。			
25年度予算額(千円)	19,596	内訳	事業費	10,476
			人件費	9,120
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
<ul style="list-style-type: none"> ～24年度: 市民協働による重点プロジェクトの推進 25年度: 地球温暖化対策実行計画の推進 26年度: 地球温暖化対策実行計画の推進 27年度以降: 地球温暖化対策実行計画の推進 				
38				
			担当課	環境対策課
事業名	太陽光発電設備設置補助事業		事業年度	平成24 年度～
事業内容	地球温暖化対策として、太陽光発電設備の設置を促進することにより、温室効果ガスの発生を抑制するとともに、エネルギーの自家生産を促進する。			
決算額(千円)	53,645	内訳	事業費	44,525
			人件費	9,120
実施内容	住宅用太陽光発電設備を設置した個人に対して、設置費用の一部を補助した。 補助金額:20,000円/kWh(上限50,000円/基)			
成果等	補助件数 892件 補助金総額 44,525千円 補助金交付により約4メガワットの太陽光発電設備が設置され、温室効果ガス排出量の削減や再生可能エネルギーの普及促進、地球温暖化対策の推進につながった。			
25年度予算額(千円)	72,160	内訳	事業費	60,000
			人件費	12,160
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
<ul style="list-style-type: none"> ～24年度: 太陽光発電設備設置費用の補助 25年度: 太陽光発電設備設置費用の補助 26年度: 太陽光発電設備及びエネファーム設置費用の補助 27年度以降: 太陽光発電設備及びエネファーム設置費用の補助 				
39				
			担当課	環境対策課
事業名	環境にやさしい自動車導入推進事業		事業年度	平成21 年度～平成25年度
事業内容	地球温暖化対策推進施策として、環境にやさしい自動車(電気自動車)の購入費用の一部を助成することで、電気自動車の普及を促進し、自動車使用に伴う温室効果ガスの削減と市民の省エネルギー意識の高揚を図る。			
決算額(千円)	12,052	内訳	事業費	10,000
			人件費	2,052
実施内容	環境にやさしい自動車(電気自動車)を新規購入した個人に助成した。 補助金額:200,000円/台			
成果等	補助台数 50台 補助金総額 10,000千円 補助金交付により、電気自動車の普及が促進され、温室効果ガス排出量の削減や市民の省エネルギー意識の高揚につながった。			
25年度予算額(千円)	12,052	内訳	事業費	10,000
			人件費	2,052
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
<ul style="list-style-type: none"> ～24年度: 電気自動車の購入者への補助 25年度: 電気自動車の購入者への補助 26年度: — 27年度以降: — 				

平成25年度重点事業の成果

40				
			担当課	衛生課
事業名	納骨堂等複合施設建設事業		事業年度	平成23年度～25年度
事業内容	多様化する墓地需要に対応するため、「納骨堂」や「合葬式施設」の機能を併せ持つ複合施設を丸山墓地公園内に整備する。 延床面積:約335㎡ 供用開始:平成26年7月			
決算額(千円)	158,727	内訳	事業費	147,327
			人件費	11,400
実施内容	新築工事等工事請負費 138,646千円 直接参拝壇・間接参拝壇購入費 4,046千円 設計等委託費 2,273千円			
成果等	「納骨堂」と「合葬式施設」の機能を併せ持つ複合施設を丸山墓地公園内に整備した。			
25年度予算額(千円)	191,207	内訳	事業費	179,807
			人件費	11,400
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
実施設計(基本設計含む) 墓地管理システム開発		建設工事 墓地管理システム稼働	供用開始	募集等
41				
			担当課	清掃施設課
事業名	福宗環境センター清掃工場長寿命化事業		事業年度	平成24年度～26年度
事業内容	平成9年度の稼働開始より15年が経過した福宗環境センター清掃工場において、ストックマネジメントの手法導入により効果的・効率的な維持管理を行うため、平成24年度から3ヵ年で基幹的設備の改良事業を実施する。			
決算額(千円)	1,126,159	内訳	事業費	1,110,959
			人件費	15,200
実施内容	【3号炉】フィーダ更新、ボイラー水管金属溶射、ボイラー水管パネル管部分更新、火格子全数交換等 【1、3号炉】押込送風機整備、新燃焼制御システム更新、現場制御盤更新、バグフィルタろ布取替等 【共通】DCS設備更新、ごみクレーン用バケット更新、蒸気タービン電子ガバナ更新等			
成果等	平成24年度から引き続き長寿命化工事に取り組み、平成25年度に計画していた事業を予定どおりに実施した。			
25年度予算額(千円)	1,618,767	内訳	事業費	1,603,567
			人件費	15,200
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
・1号炉改修 ・DCS設備更新		・1、3号炉改修 ・DCS設備更新、ごみクレーン改修、灰クレーン改修、蒸気タービン電子ガバナ更新外	・2号炉改修	—
42				
			担当課	公園緑地課
事業名	みんなの森づくり事業		事業年度	平成19年度～
事業内容	みんなの森づくり事業は、大分市緑の基本計画の基本方針である、「緑を守り、次代に残す」、「緑を創り、増やす」、「みんなで考え行動する」に沿った事業で、多くの人々が大分の緑と森づくりに参加出来る環境をつくり、自然とのふれあいを通じ緑の大切さを理解することで、人と自然が共に暮らせる社会の構築を目指す。 市民団体、NPO法人、事業者、行政で構成する「みんなの森づくり推進協議会」が事業の中核を担う。			
決算額(千円)	14,100	内訳	事業費	6,500
			人件費	7,600
実施内容	「どんぐり」を通貨とした『みどりの夢銀行』を春4月～5月、秋10月～11月の2回開設し、どんぐり預金の受付やグッズ交換を行った。11月10日大分いこいの道南側広場にて「第5回みんなの森づくり市民植樹祭」を実施し、参加者1,193名で2万枚の芝張りを行った。新たに、「身近な自然観察会」や「里山を守る竹林整備と竹灯籠作り」などを行った。			
成果等	平成19年度からスタートした「みどりの夢銀行」の預金者が3,840名となった。市民協働による市民植樹祭の開催など「みんなの森づくり事業」を通じて、広く市民に緑の大切さを普及啓発でき、また、大分の貴重な緑を守り、創造することで、都市環境・自然環境の改善を図ることができた。			
25年度予算額(千円)	14,100	内訳	事業費	6,500
			人件費	7,600
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
「みどりの夢銀行」の運営、啓発イベント外 第1～4回市民植樹祭		「みどりの夢銀行」の運営、啓発イベント外 第5回市民植樹祭	「みどりの夢銀行」の運営、啓発イベント外 第6回市民植樹祭	「みどりの夢銀行」の運営、啓発イベント外 第7回市民植樹祭

平成25年度重点事業の成果

43					担当課	産業振興課
事業名	地産地消推進事業			事業年度	平成21年度～	
事業内容	市内で地域の特色を生かして生産、販売している農林水産物(加工品を含む。)を多くの市民に認知してもらい、消費の拡大に努めるとともに、農業所得の向上、地域の活性化を図る。					
決算額(千円)	12,550	内訳	事業費	2,670		
			人件費	9,880		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ふれあい農園整備運営事業(補助率1/2以内、補助限度額 250万円) ・地産地消推進活動支援事業(補助率1/3以内、補助限度額 50万円) ・市民農園利用促進事業(補助率1/3以内、補助限度額 10万円) ・地元農林水産物定期市支援奨励金(定期市1回の開催につき5千円を交付、限度額12万円) 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ふれあい農園整備運営事業において、戸次市民農園の85区画を改修 ・看板等購入への補助 4件(173千円) ・市民農園新聞広告費等への補助 1件(8千円) ・松が丘、城南団地において定期市開催(各24回、計48回開催) 					
25年度予算額(千円)	12,752	内訳	事業費	2,872		
			人件費	9,880		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所・加工所整備助成 ・加工機器導入費、広報宣伝費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報宣伝費助成 ・市民農園区画改修費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所・加工所整備助成 ・加工機器導入費、広報宣伝費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所・加工所整備助成 ・加工機器導入費、広報宣伝費助成 		
44					担当課	産業振興課
事業名	「おおいの幸」ブランド化支援事業			事業年度	平成23年度～	
事業内容	意欲のある農林水産業者及び中小企業者等に対し、本市の地域資源を活用した新製品及び新技術の開発を促進するとともに、当該商品等の販路拡大を図り、地域経済の発展に繋げる。					
決算額(千円)	7,298	内訳	事業費	2,738		
			人件費	4,560		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおいの幸」ブランド化支援事業補助金(研究開発:3件、商品化促進:1件、販売力強化:1件) ・「大分市6次産業化コミュニティネット」による異業種交流の促進(H26.3月末:253名登録) ・大分市6次産業化マッチングフェアの開催(11月開催、43団体展示、来場者230名) 					
成果等	商品化等を支援することにより、大分市産いちじくと生乳を利用した乳製品が開発・販売され、地元農産物の利用が促進されるとともに、6次産業化コミュニティネット等により、異業種間の交流促進を図ることができた。					
25年度予算額(千円)	9,020	内訳	事業費	4,460		
			人件費	4,560		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発及び販路拡大等支援 ・異業種交流等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発及び販路拡大等支援 ・異業種交流等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発及び販路拡大等支援 ・異業種交流等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発及び販路拡大等支援 ・異業種交流等の促進 		
45					担当課	農林水産課
事業名	農業参入企業推進事業			事業年度	平成24年度～	
事業内容	大分市内で新たに農業に参入する企業が行う従業員の新規雇用及び栽培施設等の整備に要する経費に対し助成を行う。					
決算額(千円)	8,921	内訳	事業費	2,841		
			人件費	6,080		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度PR及び説明会の開催(市報・市ホームページ・関係団体広報誌等にてPR、説明会11回開催) ・農業用機械導入及び作業所改修に対する補助(1社 柿・露地野菜) ・関係機関と連携した参入企業に対する経営・栽培技術等の支援(1社 水耕トマトの栽培) 					
成果等	本事業により1社が本市の農業に参入し、遊休農地の有効利用と新たな雇用の創出につながった。					
25年度予算額(千円)	11,480	内訳	事業費	5,400		
			人件費	6,080		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度のPR、説明会の開催 ・栽培施設導入支援 ・関係機関と連携した経営・栽培技術等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度のPR、説明会の開催 ・農業機械導入及び作業所改修支援 ・関係機関と連携した経営・栽培技術等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度のPR、説明会の開催 ・栽培施設導入等の支援 ・関係機関と連携した経営・栽培技術等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度のPR、説明会の開催 ・農業機械導入及び栽培施設導入支援、雇用促進助成金の交付 ・関係機関と連携した経営・栽培技術等の支援 		

平成25年度重点事業の成果

46					担当課	農林水産課
事業名	有害鳥獣対策事業			事業年度	昭和48年度～	
事業内容	有害鳥獣の駆除を行うとともに、防護柵設置や狩猟免許取得に対して支援することにより、増加傾向にある有害鳥獣による農作物等への被害や生活環境への被害を軽減する。					
決算額(千円)	36,375		内訳	事業費	24,975	
				人件費	11,400	
実施内容	①有害鳥獣駆除報償金(春期・秋期・3月期他) ②猪被害防護柵設置事業補助金(電気柵・鉄線柵・トタン柵) ③狩猟免許講習費補助及び自衛捕獲用わな購入費補助					
成果等	①捕獲頭数:イノシシ602頭、シカ22頭、タヌキ等13頭、カラス563羽、ドバト9羽、カワウ5羽 ②申請件数・受益面積:電気柵 53件・12.0ha、鉄線柵 18件・6.4ha、トタン柵 7件・1.9ha ③講習費補助 9名、わな購入補助 3件					
25年度予算額(千円)	36,375		内訳	事業費	24,975	
				人件費	11,400	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	被害金額:15,918千円 イノシシ捕獲頭数:337頭 防護柵受益面積:54.1h	被害金額:12,843千円 イノシシ捕獲頭数:602頭 防護柵受益面積:20.3ha	被害予想金額:16,960千円 イノシシ捕獲頭数:440頭(予定) 防護柵受益面積:40ha	H29被害予想金額:11,306千円 イノシシ捕獲頭数:440頭(予定) 防護柵受益面積:40ha		
47					担当課	生産基盤課
事業名	漁港海岸保全施設整備事業			事業年度	平成23年度～ 30年度	
事業内容	佐賀県の上浦地区及び志生木地区において、高潮による浸水被害を防止するため、沖合に離岸堤を設置する。					
決算額(千円)	51,025		内訳	事業費	32,025	
				人件費	19,000	
実施内容	上浦漁港海岸保全施設整備工事 32,025千円					
成果等	平成25年度末 事業費進捗率 4.6% 上浦漁港沖に設置する離岸堤の製作に着手した。					
25年度予算額(千円)	53,000		内訳	事業費	34,000	
				人件費	19,000	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	【上浦漁港】 ・基本設計業務 ・実施設計業務	【上浦漁港】 ・離岸堤設置工事(製作)	【上浦漁港】 ・離岸堤設置工事 【志生木漁港】 ・基本設計業務	【上浦漁港】 ・離岸堤設置工事 【志生木漁港】 ・実施設計業務		
48					担当課	産業振興課
事業名	企業立地推進事業			事業年度	平成16年度～	
事業内容	本市における企業立地を促進し、産業の振興及び雇用機会の拡大を図る。 ・助成対象:製造業、情報サービス業、大分流通業務団地へ立地する企業等で要件を満たすもの ・助成金額:設備投資額の5%以内の額(限度額5億円)、新規雇用従業員数×50万円(限度額1億円) ※合計限度額5億円(単年度交付額は2億円を限度)					
決算額(千円)	418,475		内訳	事業費	410,875	
				人件費	7,600	
実施内容	平成25年度 新規交付企業数 3社					
成果等	平成25年度は新たに約75億円の設備投資及び33名の雇用が創出された。					
25年度予算額(千円)	419,100		内訳	事業費	411,500	
				人件費	7,600	
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	【累計】 立地企業 38社 設備投資額 1,225億円 新規雇用 605人	立地企業 3社 設備投資額 75億円 新規雇用 33人	(以下見込) 立地企業 2社 設備投資額 120億円 新規雇用 7人	未定		

平成25年度重点事業の成果

49					担当課	商工労政課・道路建設課
事業名	中心市街地社会実験			事業年度	平成25年度～	
事業内容	中心市街地におけるにぎわいの創出及び交通に関する社会実験を実施し、市民アンケート調査や交通量調査により、市民の意向や中央通り減車線化による周辺道路に与える影響等を把握し中心市街地の活性化に向けた課題抽出、整理を行う。					
決算額(千円)	130,405	内訳	事業費	72,645		
			人件費	57,760		
実施内容	中央通り線・中央町側において、にぎわいや憩い空間の確保のため、歩車道の段差解消の仮設工事を実施し、平成25年10月12日(土)から11月10日(日)まで、中心市街地で中央通りの拡幅された歩道空間や公園をはじめとする公共空間を活用して、にぎわいや憩いの空間創出に向けた実証実験を行った。また、実験期間中と通常時の交通量の変化を確認するために、自動車や歩行者の交通量をはじめ、中心市街地の交差点の渋滞長やバスの定時性などの調査を行った。					
成果等	オープンカフェなどの憩いの場の設置や、土・日・祝日を中心に公募による31団体、35イベントの実施等、さまざまなイベントの開催等により魅力ある空間の創出が図られた。歩道拡幅により、現行の3車線を2車線としての実験だったが、期間中の交通渋滞も見られず、バスの定時性においても問題のないことが確認できた。					
25年度予算額(千円)	130,460	内訳	事業費	72,700		
			人件費	57,760		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	—	社会実験実施 課題抽出、整理	—	—		
50					担当課	商工労政課
事業名	商都復活支援事業			事業年度	平成20年度～	
事業内容	大分市中心市街地商都復活支援事業区域において、中心市街地の活性化を図ることを目的とする事業を実施する商店街団体や事業者に対し、補助金を交付する。 出店時の改装費や広告費の補助、イベント開催に係る費用の補助等、6つの補助事業がある。					
決算額(千円)	75,209	内訳	事業費	64,569		
			人件費	10,640		
実施内容	まちなか出店支援事業13,500千円、トイレ整備事業1,329千円、イベント開催事業8,556千円、商店街基盤整備事業24,038千円、中心部活性化商店街連携事業11,700千円、オンリーワン企業等支援事業220千円 まちなか出店サポートセンター事業業務委託料5,145千円、選考委員会報償金81千円					
成果等	空き店舗への出店、イベント開催等による中心市街地の活性化に寄与できた。 ・新規出店件数 10件 (H25年度実績) ・イベント件数 13件 ・商店街基盤整備等件数 9件					
25年度予算額(千円)	80,893	内訳	事業費	70,253		
			人件費	10,640		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	補助件数149件 (平成20～24年度実績)	補助件数32件	補助件数40件 (平成26年度見込)	未定		
51					担当課	観光課
事業名	着地型観光を活用した商品販売促進事業			事業年度	平成22年度～	
事業内容	・着地型観光商品の販売 ・「地域資源」を活用した着地型観光商品の開発 ・観光ボランティアガイド・組織の育成					
決算額(千円)	5,075	内訳	事業費	2,415		
			人件費	2,660		
実施内容	着地型観光として開発した佐賀関地区については、県外を中心に商品販売を行った。また、新たな商品(サービス)の掘り起こしや新しいエリアの開発に取り組んだ。					
成果等	・福岡発日帰りバスツアー(佐賀関、戸次)商品販売委託実施:236名(佐賀関3回・戸次3回) ・ツアー参加へのアンケート実施による調査・分析					
25年度予算額(千円)	5,160	内訳	事業費	2,500		
			人件費	2,660		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	着地型観光を活用した商品開発・ガイドインストラクタースキルアップ・モニターツアー実施	モニターツアー実施 対象地区の拡大・開発	モニターツアー実施 対象地区の拡大・開発	2次交通を利用した着地型観光商品の開発		

平成25年度重点事業の成果

52				
			担当課	観光課
事業名	おもてなしのまち推進事業	事業年度	平成25年度～	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本市を訪れた来訪者を対象に再訪を促すインセンティブを働かせる仕組みづくりを行う。 ・本市をPRする素材を製作する。 ・「おもてなしのまち」の取組みを全国に向けて情報発信を行う。 			
決算額(千円)	14,717	内訳	事業費	8,637
			人件費	6,080
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分トリニータホームゲームや全国高等学校北部九州総体等で「おもてなCity！大分！」カードを配布 ・大分市観光PRCM「透明観光大使」を製作・公開 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなCity！大分！」カード配布枚数 30,316枚 ・観光PRCM「透明観光大使」再生回数 34,384回 			
25年度予算額(千円)	16,080	内訳	事業費	10,000
			人件費	6,080
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	「おもてなCity！大分！」カード配布 観光大使を活用したPRCM製作	「おもてなCity！大分！」カード配布	ボランティアガイドの自立支援
53				
			担当課	産業振興課
事業名	森林セラピー魅力創出事業	事業年度	平成23年度～ 25年度	
事業内容	癒しと健康づくりを目的とする森林セラピーを活用した市民及び観光客向けのイベント等を開催し、「健康」をキーワードとした新たな観光資源の開発と本市の魅力を情報発信する。			
決算額(千円)	52,505	内訳	事業費	35,025
			人件費	17,480
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・林道高崎線路面改良工事、案内板設置等の森林セラピーロード整備 ・森林セラピー体験ツアー等の森林セラピープログラムの実施 ・全日本自転車競技選手権大会ロードレース及びトレイルランニング大会の開催 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーロードの整備による利便性等の向上 ・森林セラピープログラム 計14回開催 延べ736人が参加 ・第82回全日本自転車競技選手権大会ロードレース (H25.6.22～23開催) エントリー数: 499人(出場者数411人)、来場者数: 約9,000人 ・トレイルランニング大会(H26.3.16開催) エントリー数: 447人(出走者数287人) 			
25年度予算額(千円)	53,480	内訳	事業費	36,000
			人件費	17,480
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピー基地認定 ・森林セラピー講演会開催 ・森林セラピープログラムの実施 ・トレイルランニング大会の開催 ・林道高崎線整備、案内板設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・林道高崎線整備、案内板設置 ・森林セラピープログラムの実施 ・トレイルランニング大会の開催 ・全日本自転車競技選手権大会ロードレースの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内板、トイレ等設置による森林セラピーロードの整備 ・森林セラピープログラムの実施 ・トレイルランニング大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内板、トイレ等設置による森林セラピーロードの整備 ・森林セラピープログラムの実施 ・トレイルランニング大会の開催
54				
			担当課	観光課
事業名	大友プロモーション事業	事業年度	平成25年度～	
事業内容	市民が大友宗麟を郷土の誇りとできるように、大友宗麟に興味を持ち親しめる仕組みづくりを行うとともに、大友宗麟やザビエルをはじめとする南蛮文化を核とした大分の魅力の商品化、イベントの実施等を通じて、大分市の情報発信や観光振興を図る。			
決算額(千円)	15,008	内訳	事業費	5,888
			人件費	9,120
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大友宗麟プロモーション市民提案事業補助事業の実施 ・市内小中学校へ配布の為、書籍の購入 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財課と協力し「南蛮文化フォーラム」を開催 ・「大友プロモーション市民提案事業補助金」による7事業実施 			
25年度予算額(千円)	18,123	内訳	事業費	9,003
			人件費	9,120
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・大友プロモーション市民提案事業補助金 ・宗麟公まつりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型看板設置(大友館跡外) ・南蛮・外国菓子復元事業 ・大友プロモーション市民提案事業補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・大友プロモーションモニターツアー ・現代版「天正遣欧少年使節」 ・大友関連フォーラム

平成25年度重点事業の成果

55				
			担当課	観光課
事業名	大分ブランドプロモーション戦略事業		事業年度	平成25 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の構築 ・総合的かつ戦略的なプロモーションの実施 ・情報発信ツールの開発・運営 			
決算額(千円)	34,163	内訳	事業費	15,163
			人件費	19,000
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・推進アドバイザー会議の設置・運営 ・大分市シティプロモーション映像制作 ・ホルトホール大分プロジェクトマッピング協賛 			
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア報道によるPR(テレビ9件、新聞9件、ウェブ49件、雑誌1件、ラジオ1件) ・「ADあべ君」再生回数42,383回 			
25年度予算額(千円)	36,197	内訳	事業費	17,197
			人件費	19,000
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・推進アドバイザー会議の設置 ・指針の作成 ・映像の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信ツールの開発、運営 ・サポーターズクラブの開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信ツールの充実 ・プロモーションの実施 ・サポーターズクラブの運営
56				
			担当課	商工労政課
事業名	アートを活かしたまちづくり事業		事業年度	平成25 年度～
事業内容	中心市街地において、トイレを題材にした芸術作品の制作や芸術祭の開催等により、新しい魅力の発信や賑わいの創出を図る。			
決算額(千円)	30,006	内訳	事業費	13,286
			人件費	16,720
実施内容	公園のトイレ作品制作: 1作品 (若草公園) 店舗のトイレ作品制作・3作品 (iichiko総合文化センター、the bridge、wazawaza) 点灯式・トークセッション開催			
成果等	おおいたトイレナール実行委員会を設立し、公園のトイレ、店舗や施設のトイレにアート作品を制作、設置するとともに、点灯式やトークセッションを開催するなど、平成27年度開催予定の芸術祭「おおいたトイレナール」に向けた機運の醸成が図れた。			
25年度予算額(千円)	30,020	内訳	事業費	13,300
			人件費	16,720
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	公園のトイレ作品: 1作品 店舗のトイレ作品: 3作品	公園のトイレ作品: 1作品 店舗のトイレ作品: 1作品 ワークショップ等の開催	店舗のトイレ作品: 6作品 芸術祭「おおいたトイレナール」開催
57				
			担当課	下水道経営企画課
事業名	浄化槽設置整備費補助事業		事業年度	昭和63 年度～
事業内容	生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道等の未整備地域における、既存の一般住宅の単独処理浄化槽や汲取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする者に費用の一部を補助する。 補助金額 5人槽…439千円 6～7人槽…496千円 8～10人槽…604千円			
決算額(千円)	136,973	内訳	事業費	114,173
			人件費	22,800
実施内容	公共下水道等の未整備地域における、既存の一般住宅の単独処理浄化槽や汲取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする者に費用の一部を補助。			
成果等	合併処理浄化槽を普及促進することにより生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができた。			
25年度予算額(千円)	138,305	内訳	事業費	115,505
			人件費	22,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	290基 (平成24年度実績)	254基 (平成25年度実績)	330基(予定)	300基(予定)

平成25年度重点事業の成果

58				
			担当課	都市計画課
事業名	大分市中心市街地活性化事業		事業年度	平成19年度～29年度
事業内容	平成25年3月に認定された第2期大分市中心市街地活性化基本計画の着実な事業実施と進行管理を行い、活性化の具体的数値目標(①小売業年間商品販売額、②歩行者通行量、③滞在時間)の達成度を検証するとともに、計画の変更も踏まえ、持続可能な中心市街地の活性化を図る。			
決算額(千円)	31,668	内訳	事業費	8,868
			人件費	22,800
実施内容	平成25年3月に認定された第2期大分市中心市街地活性化基本計画の目標達成に向けた着実な事業の実施と進行管理を行うとともに、事業内容や活性化指標の達成度を検証し、適切なフォローアップを図っていく。			
成果等	基本計画に掲げている60事業のうち50事業に着手した。特に、主要事業であるまちなか出店支援事業では平成25年度末までに延べ139店舗が新たに出店し、イベント事業では年間150日以上イベントを開催した。また、公共空間を活用したにぎわい・憩いサービスの提供を図る社会実験を実施した。			
25年度予算額(千円)	40,412	内訳	事業費	13,812
			人件費	26,600
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	中心市街地活性化基本計画検証、計画変更及び新基本計画策定検討	第2期 大分市中心市街地活性化基本計画に基づく活性化の推進、検証、変更	第2期 大分市中心市街地活性化基本計画に基づく活性化の推進、検証、変更	第2期 大分市中心市街地活性化基本計画に基づく活性化の推進、検証、変更
59				
			担当課	都市計画課
事業名	大分都心南北軸トータルデザイン設計事業		事業年度	平成22年度～26年度
事業内容	都心南北軸をトータルデザインにより一体的に整備することで大分市の顔にふさわしい魅力ある都心空間及び都市景観の形成を図る。			
決算額(千円)	11,519	内訳	事業費	3,919
			人件費	7,600
実施内容	24年度に引き続き、中央通りの修景計画策定に取り組む中で、関係機関との協議を行った。また、民有空間アドバイス業務としてJR大分駅ビルに提言、助言を行った。			
成果等	中央通りの整備計画(素案)を基に実証実験を実施し、中央通り整備方針及び配置すべき主要施設を確認した。			
25年度予算額(千円)	37,762	内訳	事業費	18,762
			人件費	19,000
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	全体のコンセプト及びデザインイメージ策定、及びシンボルロード・北口駅前広場の修景計画・実施設計等	中央通り修景計画、民有空間アドバイス等	中央通り実施設計、民有空間アドバイス	—
60				
			担当課	まちなみ整備課
事業名	三佐北地区住環境整備事業		事業年度	平成15年度～31年度
事業内容	本地区は、狭隘な道路や密集住宅地が多く存在することから、居住環境の悪化や都市防災機能の低下が懸念されている。このため、道路を中心とした公共施設の整備改善を行い、安全で快適な居住環境の形成を図る。 施行面積 68.0ha 都市計画道路 1,711m 防災道路 5,788m			
決算額(千円)	278,633	内訳	事業費	225,433
			人件費	53,200
実施内容	防災道路改築工事: 6-3号線外4路線 L=303m、測量設計: 6-7号線外3路線 L=170m、建物等調査: 48棟、建物等移転 26件(うち家屋移転 9件)			
成果等	防災道路の整備により、避難路の確保及び老朽化した建物の建て替えが促進され、都市防災機能の向上が図れる。 平成25年度末 事業費進捗率 40.7%			
25年度予算額(千円)	574,700	内訳	事業費	521,500
			人件費	53,200
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	道路用地取得・補償 道路改築外	防災道路用地取得・補償・道路改築外 都市計画道路用地取得・補償	都市計画道路工事着工予定 道路用地取得・補償・道路改築外	都市計画道路工事着工予定 道路用地取得・補償・道路改築外

平成25年度重点事業の成果

61				
	担当課	まちなみ整備課		
事業名	浜町・芦崎・新川地区住環境整備事業	事業年度	平成14年度～ 32年度	
事業内容	本地区は、道路が未整備なまま宅地化が進行したため、居住環境の悪化や都市防災機能の低下が懸念されている。このため、都市計画道路や防災道路の整備を中心とした快適・安心な生活基盤を形成し、コミュニティの維持再生と居住環境の改善を図る。 施行面積 20.5ha 都市計画道路 590m 防災道路 2,015m 広場整備外			
決算額(千円)	394,185	内訳	事業費	348,585
			人件費	45,600
実施内容	道路改築工事: 都市計画道路及び防災道路 路線G-1,I,K-2, L=356m 建物等調査 13棟、建物等移転・用地買収等 69件(うち家屋移転38件)			
成果等	都市計画道路及び防災道路等の公共施設整備により、老朽住宅等の建替えの促進や避難経路の確保、緊急車両の通行を可能にするなど防災機能が向上するとともに、居住環境の改善により、コミュニティが維持再生される。 平成25年度末 事業費進捗率 38.5%			
25年度予算額(千円)	622,700	内訳	事業費	577,100
			人件費	45,600
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	道路用地取得・補償 道路改築外	都市計画道路(東西間)工事 着工 道路用地取得・補償	防災道路工事 都市計画道路(東西間)工事 道路・公園用地取得・補償	防災道路工事 都市計画道路(東西間)工事 公園整備 道路・公園用地取得・補償
62				
	担当課	まちなみ整備課		
事業名	滝尾中部地区住環境整備事業	事業年度	平成16年度～ 28年度	
事業内容	本地区は、公共施設が未整備なまま宅地化が進んでいるため、防災上危険な密集住宅地を形成している。このため、幹線道路を中心に歩道整備による通学路の確保など公共施設の整備改善を行い、良好な住環境の形成を図る。 施行面積 140ha (都)下郡羽田・片島松岡線 延長1,255m 歩道整備外			
決算額(千円)	513,413	内訳	事業費	452,613
			人件費	60,800
実施内容	市道加納滝尾中学校線・羽田片島1号線・片島1号線・羽田4号線測量設計委託 L=1000m 用地買収 A=2,133.40㎡、建物等移転 18件			
成果等	幹線道路の整備による狭あい道路の解消、及び市道の整備により、安全な通学路の確保ができ、安心で安全な住環境の改善が見込まれる。 平成25年度末 事業費進捗率 67.9%			
25年度予算額(千円)	829,800	内訳	事業費	769,000
			人件費	60,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	都市計画道路(片島松岡線) 道路用地取得・補償外	都市計画道路(片島松岡線) 道路用地取得・補償、道路改築 工事外	都市計画道路(片島松岡線) 道路用地取得・補償、道路改築 工事外	都市計画道路(片島松岡線) 道路用地取得・補償、道路改築 工事外
63				
	担当課	まちなみ整備課		
事業名	細地区住環境整備事業	事業年度	平成18年度～ 33年度	
事業内容	本地区は、狭隘な道路や老朽化した木造密集住宅など、居住環境や都市防災の整備が遅れている。このため、多面的な取組を通じ、安心・安全な地区コミュニティを確保し、多様な世代がいきいきと暮らす良好な市街地の形成を図る。 施行面積 39.0ha 防災道路 958m 施設案内板等			
決算額(千円)	166,412	内訳	事業費	136,012
			人件費	30,400
実施内容	防災道路改築工事: 6-1号線外1路線 L=140m 建物等調査 10棟 用地取得・建物等移転 11件(うち家屋移転 2件)			
成果等	防災道路や公園の整備により、住環境が向上するとともに、防災力が高まることで安心、安全で暮らしやすい地域が形成される。 平成25年度末 事業費進捗率 12.4%			
25年度予算額(千円)	213,200	内訳	事業費	182,800
			人件費	30,400
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	道路用地取得・補償 建物等調査外	道路用地取得・補償 道路改築工事・建物等調査外 文化財調査外	道路用地取得・補償 道路改築工事・建物等調査外 文化財調査外	道路用地取得・補償 道路改築工事・建物等調査外 文化財調査外

平成25年度重点事業の成果

64					担当課	まちなみ整備課
事業名	横尾土地区画整理事業		事業年度	平成2年度～ 28年度		
事業内容	本地区は、市街地の拡大とともに、周辺地域においても団地等の宅地開発が進んでおり、このままでは良好な居住環境が形成されないままスプロール化が進みかねない。このため、公共施設や宅地等の整備改善を行い、健全な市街地を造成する。 施行面積 82.1ha 都市計画道路・区画道路 18,779.5m 公園整備外					
決算額(千円)	725,023	内訳	事業費	656,623		
			人件費	68,400		
実施内容	区画道路:区画A-5号線外8路線 L=488.8m 街区整地:A-5街区外9件 A=19,770㎡ 建物等移転 7戸					
成果等	公共施設と宅地の一体的な整備により、スプロール化の防止と健全な宅地供給が図られ近隣地域と連担した快適な市街地が形成される。 平成25年度末 事業費進捗率 85.8%					
25年度予算額(千円)	775,400	内訳	事業費	707,000		
			人件費	68,400		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	道路改築・街区整備 保留地販売 文化財調査外	道路改築・街区整備 保留地販売 文化財調査外	道路改築・街区整備 保留地販売 文化財調査外	道路改築・街区整備 保留地販売 文化財調査外		
65					担当課	駅周辺総合整備課
事業名	大分駅南土地区画整理事業		事業年度	平成8年度～ 28年度		
事業内容	大分駅の高架事業と併せて道路網の再編を行い、鉄道の高架化に伴うJR操車場跡地等を活用することにより、良好な市街地整備環境を持つ地区の創出を図る。 施行面積 49.6ha 都市計画道路9路線 延長 3,825m 南北駅前広場 24,104㎡ 区画道路・歩行者用道路 延長 6,233m					
決算額(千円)	1,179,535	内訳	事業費	1,088,335		
			人件費	91,200		
実施内容	街路築造外工事費 587,766 千円 建物等調査外委託費 38,988 千円 大分いこいの道活動支援事業 2,000 千円		事務費等 16,736 千円 移転補償費 442,845 千円 事業計画変更 平成28年度へ事業計画延伸			
成果等	平成25年度末 事業費進捗率 96.4%					
25年度予算額(千円)	1,965,461	内訳	事業費	1,874,261		
			人件費	91,200		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	駅北口・南口広場整備工事 シンボルロード整備工事 建物等移転補償費 街路等築造工事等	駅北口・南口広場整備工事 シンボルロード整備工事 建物等移転補償費 街路等築造工事等	駅北口広場整備工事 建物等移転補償費 街路等築造工事等 換地諸費	駅北口広場整備工事 街路等築造工事 換地諸費		
66					担当課	都市交通対策課
事業名	ふれあい交通運行事業		事業年度	平成24年度～		
事業内容	交通不便地域において、生活や交通の拠点バス停(最寄のバス停)まで乗合タクシーを運行するふれあい交通を実施することにより、高齢者を中心に通院や買物などの生活支援を図る。(1回乗車200円、行きは2名以上の乗車で運行、週最大6便「乗車数多数ルートは9便」を上限)					
決算額(千円)	25,034	内訳	事業費	14,394		
			人件費	10,640		
実施内容	運行ルート 7地区16ルート					
成果等	のべ利用者数(平成25年度) 16,102人 登録者数(平成25年度) 600人 地域検討会・運行説明会等開催回数・のべ参加者数(平成25年度) 49回・611人					
25年度予算額(千円)	38,400	内訳	事業費	27,000		
			人件費	11,400		
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降		
	「ふれあい交通運行事業」として 本格運行	「ふれあい交通運行事業」として 継続運行	「ふれあい交通運行事業」として 継続運行	「ふれあい交通運行事業」として 継続運行		

平成25年度重点事業の成果

67				
			担当課	都市交通対策課
事業名	大分駅高架下西駐輪場整備事業		事業年度	平成25年度
事業内容	大分駅周辺総合整備事業の進捗に併せ仮設駐輪場が順次廃止となることから、新たに駐輪場を整備し、駅周辺の駐輪需要への対応を図る。			
決算額(千円)	43,178	内訳	事業費	33,298
			人件費	9,880
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・面積 1,369㎡ ・駐輪台数 自転車657台、原付バイク78台 合計735台 ・駐輪形式 平面ラック式 ・供用開始 平成26年3月26日 			
成果等	駐輪場の整備により自転車利用者の利便性向上と良好な都市環境の保全が図られた。			
25年度予算額(千円)	40,880	内訳	事業費	31,000
			人件費	9,880
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	設計業務委託 整備工事	—	—
68				
			担当課	開発建築指導課
事業名	老朽危険空き家等除却促進事業		事業年度	平成25年度～
事業内容	常時無人の状態にあり、倒壊や建築材等の飛散、犯罪の危険がある老朽危険空き家等の除却工事を行う場合に、その費用の一部を助成する。 補助限度額 500千円/件 募集件数 10件			
決算額(千円)	8,650	内訳	事業費	4,850
			人件費	3,800
実施内容	老朽危険空き家等除却補助金:10件			
成果等	当事業が順調に執行されたことで、「大分市空き家等の適性管理に関する条例」の推進に伴う老朽空き家除却促進事業補助金を活用した空き家等の除却が促進され、市民の生活環境が改善し、「安心・安全に暮らせるまちづくり」の推進が期待できる。			
25年度予算額(千円)	8,800	内訳	事業費	5,000
			人件費	3,800
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	10件	10件	10件(予定)
69				
			担当課	住宅課
事業名	ふるさと団地の元気創造推進事業		事業年度	平成22年度～
事業内容	少子高齢化の急速な進展による高齢者世帯の増加や空き家・空き地の増加など郊外型住宅団地が抱えている様々な問題や課題に先行的に取り組むため富士見が丘団地をモデル地区として様々な施策に取り組む。			
決算額(千円)	18,991	内訳	事業費	8,001
			人件費	10,990
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の住み替え支援家賃補助 ・空き家等購入支援事業 ・富士見が丘団地の情報の発信 ・ふるさと団地の元気創造推進協議会での活動 			
成果等	住み替え支援家賃補助により移り住んだ7世帯への補助を継続した。加えて、ふるさと団地空き家等購入支援事業を行い団地外から人が入って来やすい環境を作り団地の活性化に繋がった。			
25年度予算額(千円)	20,850	内訳	事業費	9,860
			人件費	10,990
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	ワークショップ開催、プロジェクトチーム設置、協議会設立、国への提案、子育て世帯の住み替え支援家賃補助、中央公園の整備	子育て世帯の住み替え支援家賃補助、ふるさと団地空き家等購入支援事業	子育て世帯の住み替え支援家賃補助、ふるさと団地空き家等購入支援事業	詳細は未定

平成25年度重点事業の成果

70				
			担当課	住宅課
事業名	(仮称)佐賀関本町住宅建設事業		事業年度	平成24年度～27年度
事業内容	佐賀関地区において老朽化等が進んだ4つの住宅(辛幸奥・西町漁民・汐見・秋ノ江)について旧佐賀関公民館跡地での集約建替えを行い、安心・快適な住環境の確保をめざす。 【供用開始予定 65戸 平成27年3月】			
決算額(千円)	89,214	内訳	事業費	80,854
			人件費	8,360
実施内容	平成25年度は、建築工事を行った。			
成果等	平成27年3月の供用開始(予定)に向けて、本体建築工事に着手した。			
25年度予算額(千円)	110,360	内訳	事業費	102,000
			人件費	8,360
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	実施設計 地質調査 法面保護工事	建設工事	建設工事 移転 屋外附帯等工事	解体設計 家屋解体
71				
			担当課	住宅課
事業名	小屋鶴住宅建設事業		事業年度	平成25年度～28年度
事業内容	愛宕と廻栖住宅はともに建築後40年以上経過し、老朽化等で補修や補強を行っても耐用年数の延長が望めない状況である。同じく老朽化した小屋鶴住宅での集約建替えを行い、安心・快適な住環境の確保を目指す。 【供用開始予定 45戸 平成28年度(1期工事分)】			
決算額(千円)	17,388	内訳	事業費	15,868
			人件費	1,520
実施内容	平成25年度は基本設計、測量試験を行った。			
成果等	基本設計、測量試験を行い、事業全体の基本方針・コンセプト・住棟計画の考え方等がまとまった。			
25年度予算額(千円)	21,420	内訳	事業費	19,900
			人件費	1,520
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	基本設計 測量試験	実施設計 敷地整備設計 敷地整備工事 周辺家屋調査	本体工事 集会所解体 屋外附帯等工事 居住者移転
72				
			担当課	住宅課
事業名	(仮称)敷戸南台住宅建設事業		事業年度	平成25年度～29年度
事業内容	老朽化した敷戸南S44・45住宅と敷戸東S46住宅を統合して建替えを行い安心・快適な住環境の確保を目指す。 【供用開始予定 40戸 平成29年度(1期工事分)】			
決算額(千円)	17,705	内訳	事業費	14,665
			人件費	3,040
実施内容	平成25年度は居住者移転を行った。			
成果等	平成26年度に実施する予定の解体工事に向けて、居住者移転を行った。			
25年度予算額(千円)	26,476	内訳	事業費	23,436
			人件費	3,040
計画概要	～24年度	25年度	26年度	27年度以降
	—	居住者移転	解体設計 家屋解体 居住者移転	基本設計 測量試験 実施設計 建設工事